

平成29年度
優秀賞

株式会社山形屋

会社概要

株式会社山形屋は、宝暦元年(1751年)創業の老舗百貨店で、従業員数は約1,000名、営業時間は、平成29年4月時点で10:00~20:00である。

平成20年4月17日には、鹿児島県と「かごしま環境パートナーズ協定」を締結し、普及啓発活動やイベントへの参加等の環境保全活動に取り組んでいる。

削減実績

二酸化炭素排出量削減率5.7%達成(平成25年度比)

※電力排出係数の変動の影響を考慮し、電力排出係数を基準年度(平成25年度)に固定して実績排出量を算定し、計画期間(平成26年度~平成28年度)の平均排出量を評価した。

実施した対策

全従業員による削減活動の実施

平成14年から全社的に環境目標(環境配慮商品の売上高、包装紙の使用量、二酸化炭素排出量等)を設定して事業活動を実施しており、省エネ推進のための委員会(環境委員会)を毎月1回開催し、削減目標や新たな省エネ対策を検討・実施している。

また、全従業員に対し、社内報(毎月の節電結果を記載)の配布、環境指針の掲示(全エレベーター他)、ミーティングでの周知等の環境教育を行うとともに、社員一人一人が、手帳に入るサイズの環境方針が書かれたカードを所持している

なお、環境体制を組織し、環境に関する国際規格ISO14001の認証を取得している。

照明の省エネ

店内及びバックヤードの照明は、現在約7割をLEDに更新しており、毎月約1,000kWhの電力使用量削減(デマンド値)に繋がっている。

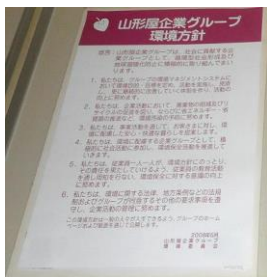
また、照明をプログラム化し、閉店後、一定の時間になると自動で照明のブレーカーが落ちる設定や、バックヤード(主に執務室、食堂)の蛍光灯一つ一つに点消灯用の紐を付け、必要な箇所だけ点灯するなど、従業員による主体的な省エネ対策を実施している。

空調設備の省エネ

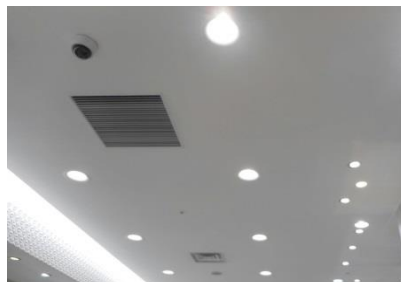
各階のエアハンドリングユニットをフロア毎に管理し、フロアの用途に合わせて運転時間を変えることにより、エネルギー使用量の削減を図っている。

外気温度が15~16℃以下の場合、ターボ冷凍機を停止し外気冷房の利用を図り、エネルギー使用量の削減に繋がっている。

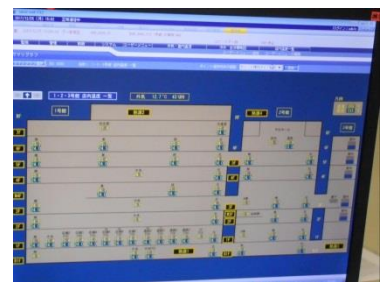
今後は、照明の更なるLED化などで、使用電力の削減に繋げる予定である。



環境方針



LED化



店内温度一覧モニター